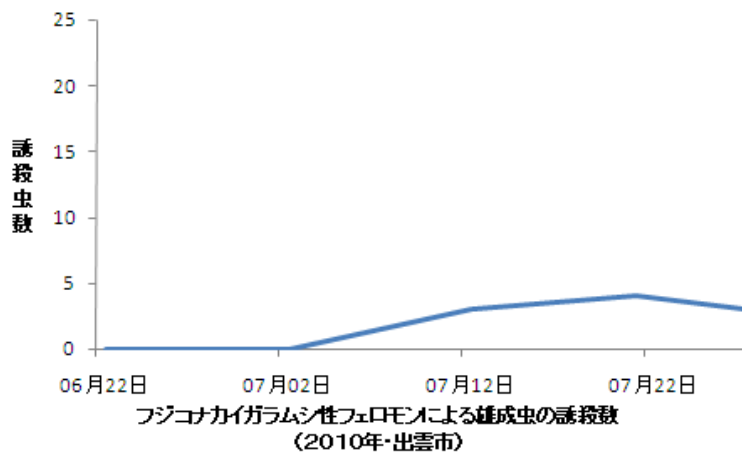


カキのフジコナカイガラムシの第2世代防除適期の予測 (出雲市)

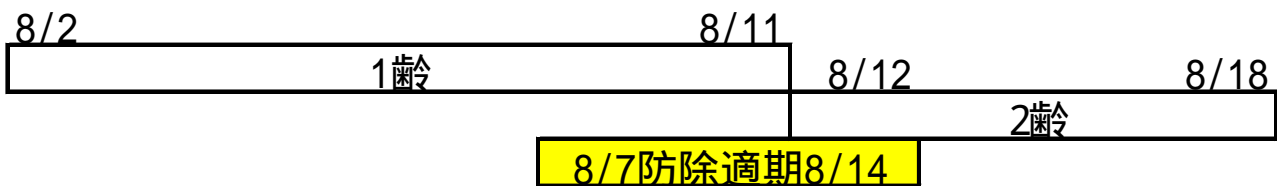
予想防除適期：8月7日～8月12日(8月2日計算)

島根県病害虫防除所

予測の根拠：フェロモントラップを出雲市東福町のカキ園に4月23日から設置しフジコナカイガラムシの越冬世代雄成虫を調査した。その結果、本年の第1世代雄成虫の誘殺数の上昇は7月12日に認められた。



誘殺数が増え始めた7月12日を起点とし平均気温(8月1日までは2010年の気温、それ以後は平年値)を用いて次世代(第2世代)の発生時期を予測すると1齢期8月2日～11日、2齢期8月12日～18日となり、防除適期は8月7日～8月14日と推定された。



参考：フジコナカイガラムシは年3世代発生するとされている。近年、フジコナカイガラムシの性フェロモンが明らかになり、圃場における発生状況をより正確に把握できるようになった。そこで、性フェロモントラップデータとフジコナカイガラムシの発育データを使って第2世代幼虫発生期(前回第1世代幼虫発生期は6月下旬～7月上旬)を予測し、それに基づいて最適な防除時期を示した。今後も雄成虫の誘殺ピークにより発生予測を行う予定である。

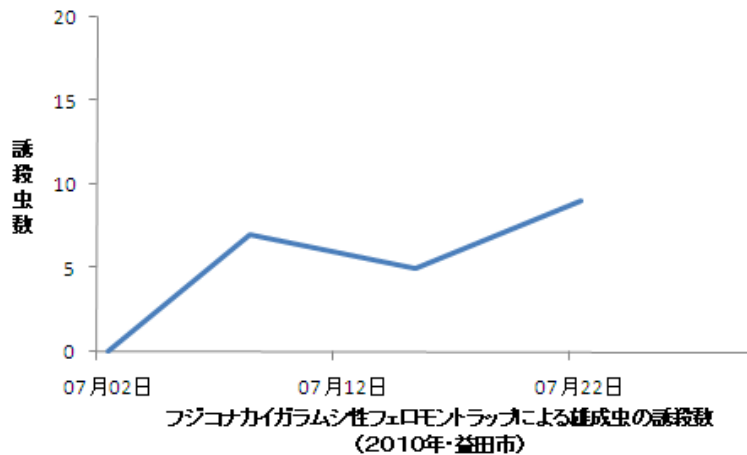
なお、この予測は一部山間地では1週間以上遅くなりますのでご注意ください。

カキのフジコナカイガラムシの第2世代防除適期の予測 (益田市)

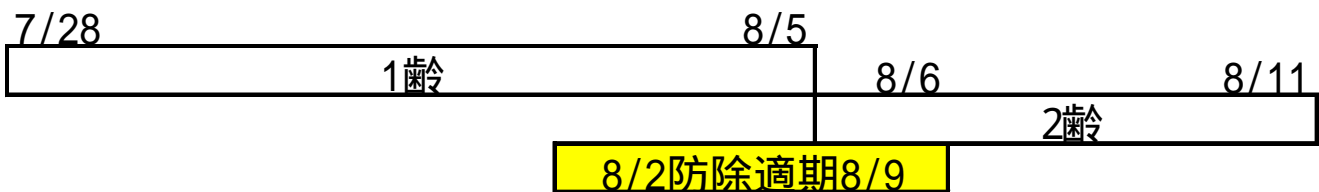
予想防除適期：8月2日～8月9日(8月2日計算)

島根県病害虫防除所

予測の根拠：フェロモントラップを益田市遠田町のカキ園に5月7日から設置しフジコナカイガラムシの越冬世代雄成虫を調査した。その結果、本年の第1世代雄成虫の誘殺数の上昇は7月8日に認められた。



誘殺数が上昇し始めた7月8日を起点とし平均気温(8月1日までは2010年の気温、それ以後は平年値)を用いて次世代(第2世代)の発生時期を予測すると1齢期7月28日～8月5日、2齢期8月6日～8月11日となり、防除適期は8月2日～8月9日と推定された。



参考：フジコナカイガラムシは年3世代発生するとされている。近年、フジコナカイガラムシの性フェロモンが明らかになり、圃場における発生状況をより正確に把握できるようになった。そこで、性フェロモントラップデータとフジコナカイガラムシの発育データを使って第2世代幼虫発生期(前回第1世代幼虫発生期は6月下旬～7月上旬)を予測し、それに基づいて最適な防除時期を示した。今後も雄成虫の誘殺ピークにより発生予測を行う予定である。

なお、この予測は一部山間地では1週間以上遅くなりますのでご注意ください。